

教材企画書作成ツール ver.2 簡易マニュアル

1.このツールについて

このツールは、「教材設計マニュアル」を使い「独学を支援する教材」を作る方向けの「教材企画書作成ツール」です。どんなものを作ろうと考えているのかを入力することで「教材企画書」を作成でき、PDFとして保存できます（サンプルは別添のzip）。作成した教材企画書は、本ツール上で何度でも修正できます。

※このツールは試用版です。一通りの動作確認はしておりますが、不具合等が見つかりましたら開発者（鈴木科研チーム：kaken@suzu-lab.sakura.ne.jp）までご連絡ください。

2.使い方

2.1.ログインから教材企画書作成まで

1) 以下の URL にアクセスしてください。

http://suzu-lab.sakura.ne.jp/tm_proposal/kanri/login.php

2) ログイン ID・パスワードを入力してログインしてください。（初めて利用する方は、新規ユーザー登録をしてください）

3) ログイン後、初めて教材企画書を作る場合は「教材企画書登録」をクリックして、企画書を作成してください。(詳しい操作説明は、「関係者向けマニュアル」をご参照ください。)

教材企画書作成ツール

教材企画書一覧 教材企画書登録 診断 パスワード変更 ログアウト

一般利用者メニュー

- 教材企画書
 - 教材企画書一覧
教材企画書の修正・削除・表示順の登録が行えます。
 - 教材企画書登録**
教材企画書の新規登録が行えます。
- 診断
 - 診断
診断が行えます。
- パスワード
 - パスワード変更
パスワード変更が行えます。
- マニュアル
 - 関係者向けマニュアル
システムの利用方法マニュアルです。

詳しい操作説明は、「関係者向けマニュアル」をご参照ください。

4) 教材企画書登録画面では、指定のテキストボックスに内容を入力します。テキストボックスにカーソルを入れると、入力例が表示されますので参考にしてください。

入力が終わったら、画面最下部の「確認」をクリックします（途中でやめたいときは「一時保存」をクリックします）。

5) 確認画面で内容を確認したら、「登録」をクリックします。

2.2.作成した教材企画書を PDF で発行する

1) 教材企画書を作成し、登録を完了したら、「教材企画書一覧」を表示します。状態が「相互評価中」と表示されている企画書の、企画書タイトルをクリックします。

No	タイトル	ユーザ	バージョン	最終更新日	状態
1	敬語	高橋 暁子	0	2018-10-12 13:49:07	一時保存中
2	敬語	高橋 暁子	1	2018-10-12 13:49:07	相互評価中

2) 確認画面を下にスクロールして、「PDF」をクリックします。

教材企画書作成ツール

教材企画書一覧 教材企画書登録 診断 パスワード変更 ログアウト

(8) 報告書作成者と点検者名

- 作成者
高橋 聡子
- 点検者 1
佐藤 太郎
- 点検者 2
加藤 和夫

タイトル	敬語
相互チェックキー	6528f84b7b8653d76da038054bd433808d5f616981c99b5bc602a17db492b41
更新日時	2018-10-12 13:49:07

戻る 削除 複写 PDF

3) PDF ファイル（複数ファイルで構成される場合は zip ファイル）がダウンロードできます。ダウンロードしたファイルを、タスクや課題の提出先に提出してください。

2.3.作成した教材企画書を自己診断する

教材企画書チェックリスト ver.2 を使って、ご自身の企画書の不備をチェックすることができます。チェックリストは全部で 8 カテゴリ 45 項目あります（一覧は巻末にあります）。

1) 教材企画書を作成し、登録を完了したら、「診断」を表示します。自己診断したい教材企画書の「診断」をクリックします。

教材企画書作成ツール

教材企画書一覧 教材企画書登録 診断 パスワード変更 ログアウト

診断一覧

企画書

ID	Title	
1	敬語	診断
2	敬語	診断

回答

SubmissionTime	Title	
2018-10-17 13:35:27	敬語	閲覧
2018-10-17 14:09:52	敬語	閲覧

2) カテゴリを選択し、チェック項目の数字をクリックすると、吹き出しにチェック内容が表示されます。吹き出しの内容と企画書とを照らし合わせ、OK、NG、NAのいずれかを選択して次に進んでください。NGだと思ったら、この画面で企画書を修正することもできます。

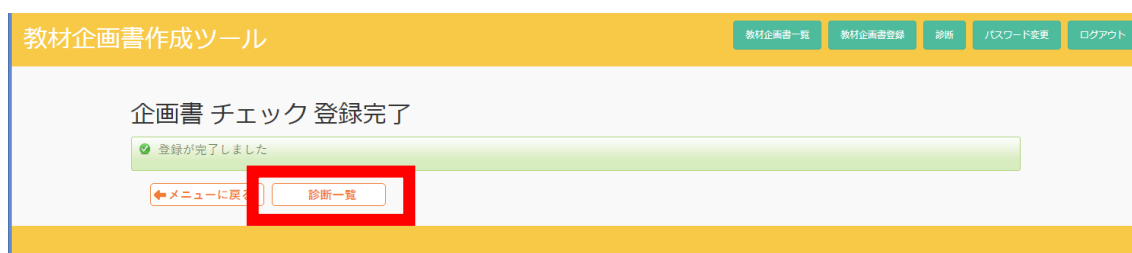
全てのチェックが終わったら、「回答を送信する」をクリックしてください。



3) 確認画面が表示されたら、下にスクロールして「登録」をクリックします。



4) 登録完了画面が表示されたら、診断一覧を表示します。



5) チェック結果を閲覧できます。

教材企画書作成ツール

教材企画書一覧 教材企画書登録 診断 パスワード変更 ログアウト

診断一覧

企画書

ID	Title	
1	敬語	診断
2	敬語	診断

回答

SubmissionTime	Title	
2018-10-17 13:35:27	敬語	閲覧
2018-10-17 14:09:52	敬語	閲覧
2018-10-17 16:08:12	敬語	閲覧

6) 診断回答閲覧画面にチェック結果が表示されます。ほぼ OK となったチェックリストは、画面キャプチャして、チェックした証拠として企画書と一緒に提出するとよいでしょう。

教材企画書作成ツール

教材企画書一覧 教材企画書登録 診断 パスワード変更 ログアウト

企画書 確認

診断回答閲覧画面

項目	チェック内容	回答	あなたのNG理由
1-1	タイトルを読めば何を学ぶことができる教材なのかわかるか	OK	
1-2	学ばせたい内容について簡潔な説明が付けられているか	NG	
2-1	どんな人たちを対象にするのか説明しているか	OK	
2-2	対象者の範囲は妥当か（特定の個人など狭すぎず、あらゆる人を対象にするなど広すぎるものではないか）	OK	
3-1	条件1「自分がよく知っている内容／よくできることか」を満たしているか	OK	
3-2	条件1を満たしていると思う根拠を説明しているか。心配な点がある場合は説明しているか。	OK	
3-3	条件2「教材で教える内容を理解していない人（教材で学ぶ必要のある人）を協力者として確保出来ているか。もしくは確保できる見通しがあるか」を満たしているか	OK	
3-4	条件2を満たしていると思う根拠を説明しているか。心配な点がある場合は説明しているか。	OK	
3-5	条件3「短時間（1時間）で学習できる内容・分量になっているか」を満たしているか	OK	
3-6	条件3を満たしていると思う根拠を説明しているか。心配な点がある場合は説明しているか。	OK	
3-7	条件4「学習者が自分の出来具合を確認しながら一人で学習を進められるか」を満たしているか	OK	

教材企画書チェックリスト Ver.2 (Soyama-Gobayashi et al. 2010 の改訂版)

(1) 教材のタイトルと内容	
1	タイトルを読めば何を学ぶことができる教材なのかわかるか*
2	学ばせたい内容について簡潔な説明が付加されているか*
(2) 教材の対象者範囲	
1	どんな人たちを対象にするのか説明しているか
2	対象者の範囲は妥当か (特定の個人など狭すぎず、あらゆる人を対象にするなど広すぎるものではないか) **
(3) 内容選択の理由 (教材4条件に照らして)	
1	条件1「自分がよく知っている内容／よくできることか」を満たしているか*
2	条件1を満たしていると思う根拠を説明しているか。心配な点がある場合は説明しているか。*
3	条件2「教材で教える内容を理解していない人 (教材で学ぶ必要のある人) を協力者として確保出来ているか。もしくは確保できる見通しがあるか」を満たしているか*
4	条件2を満たしていると思う根拠を説明しているか。心配な点がある場合は説明しているか。*
5	条件3「短時間 (1時間) で学習できる内容・分量になっているか」を満たしているか*
6	条件3を満たしていると思う根拠を説明しているか。心配な点がある場合は説明しているか。*
7	条件4「学習者が自分の出来具合を確認しながら一人で学習を進められるか」を満たしているか*
8	条件4を満たしていると思う根拠を説明しているか。心配な点がある場合は説明しているか。*
(4) 学習目標と目標の性質	
1	教材で学ぶことによって何が出来るようになるのか説明しているか
2	それぞれの学習目標は、学習者の行動で目標を表しているか (目標行動) **
3	それぞれの学習目標に、目標行動が評価される条件が書かれているか (評価条件) **
4	それぞれの学習目標に、合格の基準が書かれているか (合格基準) **
5	それぞれの学習目標に、学習課題の種類を書いているか
6	それぞれの学習目標について、学習課題の種類は正しいか*
7	言語情報の学習課題を設定している場合、それを知的技能の学習課題に発展させることが出来るかどうかを検討した記述があるか*
(5) 事前テストについて	
1	テストを行わない場合、妥当な理由を説明しているか
2	(以下、テストを行う場合) 問題と答えを全て作成して載せているか
3	合格基準を明記しているか
4	出来ないならあらかじめ教材に進んでよいという指示が書いてあるか**
5	各設問について、どの学習目標と対応しているか説明しているか。*
6	文章で答えさせるテストを行う場合、採点基準を明記しているか
7	実技テストを行う場合、合否を判断するためのチェックリストを作成して載せているか
8	言語情報のテストは、教材で使う内容のみを再認/再生させる設問になっているか
9	知的技能のテストは、教材で学ぶルールを応用させる設問になっているか*
10	問題数は十分か (目標を全てカバーできているか。合否判断が可能か。)
(6) 事後テストについて	
1	テスト問題と答えを全て作成して載せているか
2	合格基準を明記しているか
3	各設問について、どの学習目標と対応しているか説明しているか。*
4	文章で答えさせるテストを行う場合、採点基準を明記しているか
5	実技テストを行う場合、合否を判断するためのチェックリストを作成して載せているか
6	言語情報のテストは、教材で使う内容のみを再認/再生させる設問になっているか
7	知的技能のテストは、教材および事前テストで扱わない未知の例を用いて、教材で学ぶルールを応用させる設問になっているか*
8	問題数は十分か (目標を全てカバーできているか。合否判断が可能か。)
9	事前テストと同じレベル・同じ内容の問題になっているか。
(7) 教材利用の前提条件とそのチェック方法	
1	教材の利用資格 (前提条件: 教材をやるうえでどうしても必要な基礎的内容で、教材の中では教えないのであらかじめ身につけておいてほしいこと) を説明しているか**
2	前提テストを行わない場合、妥当な理由を説明しているか**
3	教材作成者が用意・貸与すべきもの (教材の一部) を学習者に用意させていないか (例: 茶道具・楽器・カメラ・靴・着物などのあらゆる道具、インターネット環境など) **
4	教材利用資格の有無をチェックする方法 (前提テスト) を6-1~6-5 に準じて用意しているか*
5	前提テストの問題数は十分か (前提条件を全てカバーできているか。合否判断が可能か。)**
(8) 報告書作成者名と点検者名	
1	報告書の氏名が記されているか
2	(相互チェック後) 点検者2名の氏名が記されているか。

*は修正項目, **は新規追加項目 (複数項目の統合も含む)